

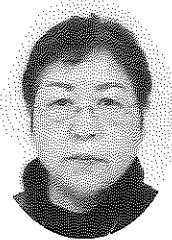
新退教通信

No.197

2025.12.1

 新潟県退職
 教職員連絡協議会
 ☎Fax 025-281-8146

働く喜びを



新退教副会長

猪狩 豊子

私は、定年の3年前病気で右耳が聞こえにくくなり、その時に早期退職しました。原因がはっきりしないながら、ストレスが影響するといわれました。

現役時代を振り返ってみると、あまり勤勉でもなかった私でも、その頃はかなり多忙感を抱えた毎日を過ごしていました。家に仕事をもち帰るのは日常のことでした。同僚たちを見ても同じような状況だったのでそれを当たり前のように思っていたものの、毎日時間に追いかけてらるる感覚でせわしくなく過ごしていた気がします。

早いもので、それから13年が過ぎました。退職直後、現役時代には興味はあってもでき

なかったことをいろいろやってみてみたいと思い、山登り・スキー・水彩画・お遍路・昔話の語り部・エコクラフトのバッグ作りなどを始めました。13年のうちに自分の身体や気持ち、周りの状況も少しずつ変わり、途中で続けられなくなったこと・やめてしまったこともあります。ですが、スキー・昔話の語り部・エコクラフトは今も楽しんで続けています。

特に昔ばなしは、人に聞いてもらうもので、快い緊張感を感じながら取組んでいます。小学校や老人ホームで語ったあと、「楽しかった。また来てね。」などと言ってもらえるのがとてもうれしく、やりがいを感じています。好きなことをやって人に喜んでもらえる今を、ありがたいことだと感謝しています。

今現役で働いている教職員の方々は、働きがい・働く喜びなどを感じる余裕をもっているのだろうか心配です。

報道によれば、日本の教員の労働時間は世界最長で、そんな中でもやりがいをもって取り組んでいると答えている割合は90%近いようですが、「ブラック職場」のイメージが広がってしまったせいか、教員志望者は増えていない現状があります。

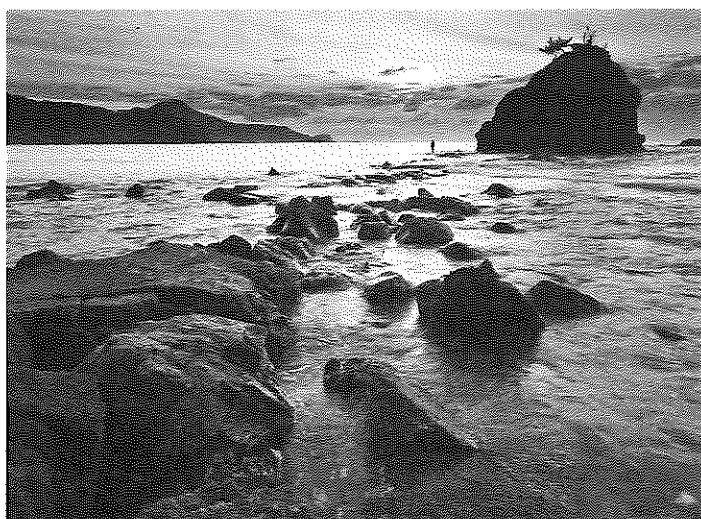
働き改革を推進し、環境整備が進んで、教員が心から喜びを感じながら働ける職業になることを祈っています。

目次

(敬称略)

8p	7p	6p	5p	4p	3p	2p	1p
みんなの広場	10月研修会、新教組の紹介②	署名、新教組の紹介①	支部からのたより②	支部からのたより①	9月地公高齢者集会	第9回学びの集い 第一部 第二部	巻頭言

タイトル『夕映えの岩礁』



柏刈支部 小林 公一

※この作品は大型パネルで新退教に寄贈していただきました。

第9回「学びの集い」

10月15日、新教組3階大ホールで、第9回「学びの集い」を開催しました。今年は、第一部イベント「秋のミニコンサート」、第二部講演会「今後の年金は？退職者組織の取り組み」でした。12時50分～15時50分で、午後からの開催でした。

昨年度は、日退教会長の講演を予定していましたが、「生きがい支援協会」の第17回講演会のため、実施できませんでした。今年度の講師は、2年越しに竹田邦明前会長をお呼びしての講演会となりました。

第一部 秋のミニコンサート

第一部は、昨年に引き続き、藤村修さんの「秋のバス独唱」でした。今年度は、新潟市支部でもイベントコンサートを行いました。回を重ねるたび、トークに磨きがかかってきました。



第1部<プログラム>

- ～バス独唱① The2nd～
 ①さとうきび畑
 ②くちなし
 ③ふるさとの山に向ひて
 ～～ピアノ独奏～～
 ④12の小品 op.40-10
 「ロシアの踊り」
 ⑤ノクターン第2番
 作品9-2
 ～バス独唱② The2nd～
 ⑥さびしいカシの木
 ⑦死んだ男の残したものは
 ⑧この町で
 ～～みんなで合唱～～
 ※「ふるさと」
 ～～アンコール～～

参加者からの声

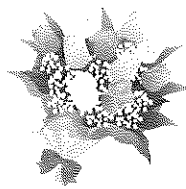
藤村さんの低い響く声で、知らない曲が多かったですが、歌詞の情景が心に浮かんで、心を動かされました。ピアノの生演奏を聴く機会もあまりないので、素晴らしい演奏を聴くことができ、幸せでした。

(匿名)



秋晴れの素晴らしい天気の中、素敵なコンサートを聴くことができました。ウクライナ・パレスチナ問題等のある時期、「さとうきび畑」の歌が心にジーンとききました。

(糸魚川支部 片桐美恵子さん)



初めて「学びの集い」に参加しました。藤村さんの素晴らしい歌声、お若いのにテンポの良い渡部さんのピアノ伴奏に魅了されました。歌詞の深い意味をお聞きしてからの演奏は、心深く沁みるものがありました。

(北魚支部 青柳義昭)

反戦を含めて、メッセージ性のある選曲で大変良かった。もっと聴きたかった。

(匿名)



秋にふさわしいお声の素晴らしいコンサートでした。窓からの秋風が吹き渡り、気分爽快の一日になりました。また、聴きたいです。

(三南支部 宮島敏明)

第二部 講演会

2025年金制度改定が進む前、昨年度年金改悪に対して、新退教会員の意識を高めるため、日退教会長をお呼びして、年金講演会を実施する予定でしたが、諸般の事情で今年度開催することとなった。演題は、「高齢期を生きる「今後の年金は？」退職者組織の取り組み」である。年金のシステムは大変難しい内容であるが、かなりわかりやすく説明してもらった。

講演資料の主な項目

- 1 「社会保障の」4つの柱
 - ①医療保険
 - ②介護保険
 - ③雇用保険
 - ④年金保険
- 2 高齢化・少子化
- 3 社会保障給付費と関係費
- 4 社会保障の財源
- 5 年金
 - (1) 公的年金制度の機能と役割
 - (3) 平均寿命と平均余命の推移
 - (4) 年金の仕組み
 - (5) 主な年金制度改正-2004と2025
 - (7) マクロ経済スライドの仕組み
- 6 持続可能な社会保障とするために



参加者からの声

社会保障はリスクに備えるリスクヘッジであるということがよく分かり、示唆を得た。

(匿名)



年金制度がより分かりました。マクロ経済スライドで年金が低く抑えられているのが残念です。

(北新支部 森弘志)



9月 地公退高齢者集会

9月17日、日退教がかかわりを強くする4つの集会上、新退教から1名参加しました。

地公退高齢者集会

来賓に、日本退職者連合の野田那智子会長、政党代表から立憲民主党から杉尾秀哉参議院議員、社会民主党から福島みずほ代表がこられました。記念講演として、東京新聞社会部記者「望月衣塑子」さんから、「新たな排外主義、軍拡国家日本」という演題で講演がありました。今日日本がおかれている現状、新興政党が起こしている問題、もしかしたら、「第3次世界対戦前夜」の可能性があることを熱弁してくれました。勉強になりました。



女性参加者の集い

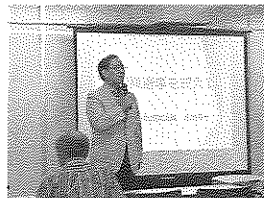
第6次男女共同参画基本計画のパブリックコメントの取組がなかなか進まない。第3号被保険者問題や選択夫婦別姓制度について、国民各層の意見や国会における議論の動向や司法の判断を注視し、更なる検討を進める論議がなされた。



日教組政治学習会

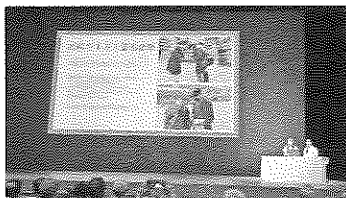
今回の参議院選挙で、当選した「みずおか俊一」さんを講師に、2025年参議院選挙の分析と総括をしてくれました。本来、国民の受け皿になるべき立憲民主党が、比例で国民民主党と参政党と同じ「7名」にとどまっていたことは、立憲民主党が反省し、今後、抜本的な改革が必要になると述べていました。

ただ、私たちが注意しなければならぬことは、SNSに振り回され、心地よい言葉に惑わされることのないようにすることであると、締めくくりました。



全国高齢者集会

9月18日に東京文京区シビックホールで、連合のOB・OGの皆さん千名以上が集まる中、基調報告があり、記念講演として、警視庁特別防犯対策監の「杉良太郎」さんから「電話による詐欺被害」から身を守るすべについて講演がありました。続いて、「高校生平和大使」とりくみ」について報告がありました。



退職後のライフプランセミナー開催

定年延長が段階的に実施となり、退職前と退職後の生活が見えにくくなっています。新退教に、退職前後の悩みが届いています。そこで、新退教として、「退職後のライフプランセミナー」を開催します。参加したい方は、TEL・FAXまたは、メールでお申し込みください。なお、5人以上の方が揃った時、希望の日時に開催できます。ふるって、申し込みください。お電話の場合は、月水金の10時～15時までをお願いします。

月	日	曜	時間	会場
12	27	土	13:30～15:25	新津地域交流センター
2	14	土	10:00～11:55	黒埼市民会館
2	28	土	10:00～11:55	黒埼市民会館

TEL・FAX：025-281-8146

E-mail：shintaikyo@gmail.com

こんにちは 新教組です

がんばれ新教組！



佐渡支部 書記長

吉田 航

(佐渡市加茂小分会)

佐渡支部では、学校規模の縮小が進み、複式学級新設による学級減のため、教職員数が減らされています。学校規模の大小にかかわらず、教職員は必要です。「定数増・加配増」「会計年度任用職員の配置」を求め、交渉していきます。すべては子どもたちの豊かな学びのために、とりくみを進めます。

たのむぞ新教組！

支部からのたより

朝の散歩

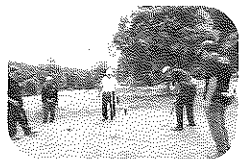


新潟市支部

百崎 恵子

5年前のこと、ある日友人にバツタリと出会った。骨折をしたのでそのリハビリのために歩くことにしたという。それが丁度私の朝の散歩コースを、しかも私と同じ時間にだ。その後は、我が家の前で待ち合わせて30分ぐらいを一緒に歩くのが私の日課となった。

「たまには体を動かそう会」



小千谷・魚沼支部

小林 謙一

会員の健康長寿対策を
目指して「たまには体を
動かそう会」という活動があります。この活動は2012年にスタート以来15年続いています。当時退職した先輩や後輩が加齢と共に気力体力の低下が気になり始めてきました。そこで仲間との交流

友人は私の5歳上、元同僚である。数学の問題を考えたり、子どもの事や近所づき合いなど話が弾んであつという間に時間が過ぎ、私は友人と別れて公園に行く。自治会のラジオ体操に参加するためだ。年齢は私の方が若いのだが、私は友人に引つ張られ励まされて何とか毎日の散歩を続けている。お陰で苦痛だった朝の散歩が楽しみになったし、何よりも健康が保たれているように思える。でもびっくりするのは友人の方で、病気一つしないで年中無休で一万歩も歩いているのです。

の場、特にスポーツを主にし一緒に体を動かして体力筋力気力アップにつながられ、さらに誰でも気軽に参加出来るレクレシヨンの要素がある運動にこだわり探しました。当時の川口町体育指導員の方から北海道で考案されたパークゴルフを紹介して頂きました。さらに町が自前のパークゴルフコースを常設していました。コースは起伏に富み男女問わず脚力と肺活力アップ、自他のプレーに丁々発止気分爽快と正に思惑通りの活動がスタートし今日に至っています。

「おけさ丸襲撃事件」をご存知ですか



佐渡支部役員

庄山 佳代子

戦後80年の節目である令和7年。おけさ丸襲撃事件追悼集会が行われた。

おけさ丸が襲撃されたのは1945年8月10日、9時発のおけさ丸が新潟港に着岸する直前だった。死者15名、重軽傷者23名という悲惨な出来事だった。戦後80年の現在、襲撃事件を知らない人も増えている。

私は「この出来事を一人でも多くの人に知ってほしい、追悼集会に参加してほしい。」と考え、退女教の仲間にも声を掛けた。

8月10日、会場には追悼集会関係者や様々な立場の方に交じって退女教の仲間も集まった。襲撃事件の話を聞きながら、平和の尊さを心の底から感じた。9時過ぎのフェリーに向かって、参加者全員で平和を願う黄色いハンカチを振った。犠牲者を悼み平和を願うこの集会を大切に、さらに輪を広げたいと思っている。

今こそ!! 地域に根ざした運動を



岩船支部 副支部長

板垣 藤生

コロナで、文章だけの活動になって久しい。支部長に任せっきりでは、岩船支部は消えてしまう?。ところが、今回の「教育予算増」の署名活動を通して、卒寿になっても活動できることに気づいた。

杉原区で60人に署名をしてもらった。その中で、約30人は新居者の若夫婦である。

そこでの何気ない会話で、「子どもの健全育成活動がしっかりしている。景観形成地区で住みよい所だ……」そして、「杉原区の子ども会は、市内で人数が一番多い」と言う。

登下校時に、声かけや挨拶をする。夏休みのラジオ体操と一緒に……。卒寿になってもできそうなのが沢山見えてくる。

「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に地域に根ざした支部活動を構築し、息長く活動を続けたいものである。



久々の



中魚支部

岩田 春代

古希を過ぎ、新しいことを覚えるのが億劫になった。感動することも随分減った。

さて当支部は、長年会費千円であったが、諸物品や郵便料金の値上げに伴い、来年度からの値上げを決定。会計係の私はパソコンが苦手なので、今までは前任者から引き継いだ領収書をコピーして使用していたが、額の変更を機に新規作成せざるを得なくな

った。

慌ててパソコン講座を受講。講師の方が素晴らしく、何度同じことを聞いても笑顔で、しかもスモールステップで進めてくださり、何と初心者の私が、周りをの二重線で囲んだ新領収書を作成できたのである。

「できたー!」と思わず叫んでしまった。

久々の感動!!

学ぶっていい。少しでも自分の可能性を広げられる。この先、傘寿がきても願わくば白寿になっても、学んでわくわくしたい。

笑顔に励まされ



上越支部 副支部長

西澤 可江子

町内の施設で毎週開催される「歌う会」にボランティアで参加をしています。今年3年目となり、この9月には100回目を迎えました。

毎回70歳から80歳代を中心に、50名ほどの方々が集まってこられます。演歌や唱歌、歌謡曲などから参加者が歌えそうな曲を選び、カラオケに合わせて20曲ほど歌います。

「大きな声で歌うと元気が出る」、「人と話ができてうれしい」、「若い頃を思い出すわ」と大勢と一緒に歌うことで、明るい笑顔が広がります。最近は歌声も一段と力強く、響きも増してきたように感じます。

私も、軽体操コーナーを担当しながら、皆さんと共に活動することでパワーをいただいています。これからも、健康で楽しいひとときを分かち合っていきたいと思っています。



新退教が新教組とともに取り組んだ署名

署 名	署名の取組時期	署名者数
税金はくらしの拡充に 戦争の準備は中止して、憲法、平和、いのちを守る政治への転換を求める請願書名	5/23「新退教総会」	43筆
ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する請願書	10/15「学びの集い」	78筆
◎ 子どもたちの学ぶ環境を改善するため、教育予算増・教職員定数増を求める署名	7月1日～11月8日	995筆

※11月7日現在

署名の取組について



- ・署名の取組は、国や地方議会に要求できる取組です。新退教の要求実現のため、みんなで署名活動しましょう。
- ・署名は1人の新退教会員の輪を広げるため、2人以上の署名をお願いしています。取組をお願いします。
- ・目標署名数は、各支部ごと会員数を上回る筆数をお願いしています。昨年度から、郵便書簡等を活用した85円返信郵便の取組を提案しています。



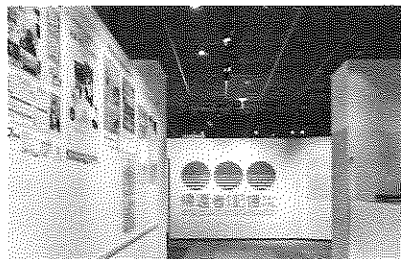
帰還者たちの記憶ミュージアム

戦後80年「教え子を再び戦場へ送るな」を
戦後100年を生きる子どもにどう伝えていきますか！

東京都庁の展望室に行ったとき、近くに平和関係の施設はないかと調べところ、道路向かいのビル「新宿住友ビル33階」に「帰還者たちの記憶ミュージアム」があることを知りました。私の妻の父親は、召集され、中国に派兵後、シベリアに3年間も抑留されました。命からがら悲痛な思いで帰国しました。妻の話では、あまり戦争の苦労話はしなかったそうです。

行ってみたら、びっくりしました。戦争後、日本に帰還した人たちの様子が展示され、DVD上演会もありました。当時の人々の辛酸を手取るように感じました。

戦後80年の今こそ、戦争に関する施設を見学してみませんか。戦争を知らない時代を生きて、戦争を子どもや孫に伝えることが難しくなっている今、私たちの身の回りある平和や戦争の悲惨さを伝える記憶にふれる機会を作って行ってみませんか。



(新井事務局長)

新宿区西新宿2-6-1

新宿住友ビル33階

こんにちは 新教組です

がんばれ新教組！



岩船支部 書記長
石 黒 健 也
(村上市村上小)

岩船支部は小さい支部ではありますが互いに声を掛け合い、よりよい職場環境を築こうとする風土があります。

四月の春闘総決起集会では、例年、多くの組合員の方が参加し、高い参加率を誇っております。これは、当支部ならではの良さです。今後も組合員の方のニーズを考え、とりくみを進めていきたいと考えます。



魚沼支部 書記長
勝 又 啓 太
(南魚沼市中之島小)

魚沼支部は統合8年目、6つの市町と83の分会がある広域支部です。オンライン形式と対面形式を使い分けながら、誰もが参加しやすく、より意義ある会議や集会となるよう工夫しています。組合員一人ひとりの声や仲間とのつながりを大切に、これまでの新教組の歴史に感謝しながら、子どもたちと教職員の笑顔のために運動を進めていきます。

たのむぞ新教組！

10月 日退教研修会①

10/9 五者学習会

10月9日に日教組・全国退女教・日退教・教職員共済・教職員相互共済の「第31回五者合同学習会」が東京ラポール日教済で行われました。

中島副委員長から基調報告がありました。今年度のテーマは「安心して心豊かに暮らせる社会を目指して」です。給特法等の働き方改革、人事院勧告、26年度予算概算請求、インクルーシブ教育の推進、学習指導要領、小学校における教科担任制、部活動の地域移行等の報告がありました。

講演Iとして、地方公務員退職者協議会事務局長の川端邦彦さんから「大砲NO！バタIYES！社会保障を育て守るために」という演題で、年金についての話がありました。

講演IIとして「被爆二世として生きる」という演題で、全国被爆二世団体連絡協議会事務局長の平野克博さんから、被爆一世とは違う被爆二世としての苦しみと被爆三世の不安感の等の話があった。



10月 日退教研修会①

組織活動交流会

全国各地で、「平和・組織・教育・人権・文化」の視点で、日退教の会員は、活動しています。その活動をレポートにまとめて、日退教組織活動交流会で実践発表をしていくれています。現役の頃の「全国教研」のようです。

参加者からの感想

全体会では、今年度の「組織現況調査」報告及び基調説明がありました。次に、石川県から「能登半島地震を経験して3つの視点から」という演題で被災体験に基づく実践発表がありました。この後、第一・第二分科会でそれぞれ五本の実践発表がありました。

参加者からの感想

能登半島地震の報告は、大きな震災を経験した県であり、発表者が同じ共済所長という立場であることから興味深く話を聞きました。教職員共済として組合OBとして、困っている人をいかに助けるか改めて考えさせられました。

分科会では、組織強化とともに平和・原発等の問題への取組に関する発表が複数ありました。また、高校の教育活動や生徒会と連携したフードバンクの取組も報告されました。退職後も様々な活動に熱心に取り組んでいる姿に感銘を受けました。

(県幹事 松田 洋平)

こんにちは 新教組です

がんばれ新教組！



新潟市支部書記長

本多 遼太

(新潟市新津第一小)

新潟市支部では、組織率50%台と低く、新採用の職員が組合に加入しないという選択をすることも少なくありません。「組織に入ると何かメリットはありますか。」と聞かれることもしばしばあります。

個人のことでなく、個人を含めた全体の課題、目標に目を向けてもらえるようなオルグができるよう、努力を続けます。



長岡支部書記長

半間 陽介

(長岡市希望が丘小)

今年の平和祈願祭は371人の方が参加し、平和の大切さを再確認しました。新教組の先輩方から受け継いできた「平和をまもる」大切なとりくみを続けていきます。今の平和も権利も今の当たり前は先輩方が作り上げてきたものだということを肝に銘じ、組合活動を進めます。

たのむぞ新教組！

我が人生バイクとともに ⑦

今井 真吾

「道の駅鳴沢（山梨県）」でオフミが計画された。

現職の頃は日帰りで参加したが、酷暑の中、健康を考慮し金沢の仲間と共に、一泊で鳴沢を目指した。

一日目は、高速のSAで合流し、長野のビーナスラインなど信州の峠道を楽しんだ。

当日は、関東を中心に東海や北陸からも参加し、同じバイクが45台も集まって記念写真を撮った。懐かしい友人や新しい人とも楽しい語らいの時間を共にできた。



日本全県車中泊 ② 関東編

高橋 初敏

今年は、関東全泊を目指す。3月に八王子で車中泊をしたので、次は栃木県。

9月の暑い日、喜多方ラーメンを食べて、柳津虚空蔵尊を横目に栃木の大谷に向かう。大谷は正から昭和まで採掘された石の名産地だ。石を切り出した跡が大きな観光



地下ホールになっている。室温14度。酷暑には嬉しい。佐渡金山を思い出す。石材を手割りするのはさぞ重労働だったろう。

道の駅「うつの宮ロマンチック」で車中泊翌日は佐野厄除大師を参詣。ここには足尾鉾害問題を天皇に直訴した、田中正造の墓がある。死ぬまで村人に寄り添い、闘い続けた正造に思いを馳せながら帰路に着く。門前の佐野ラーメンが美味かった。残るは神奈川県。

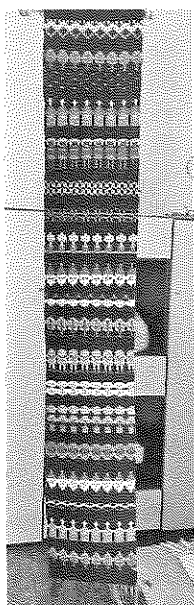
バウンド織りを楽しむ ⑤

佐久間節子

裂織と出会って20数年、趣味で手作りが大好きでタペストリーや180センチ級の壁掛け、バックや小物等を織って楽しんできました。ある時、裂織の一種ともいえるバウンド織りに出会いました。

いろいろな織りに関する書籍をさがし、織り方を試しました。早々に織ってみることにしました。出来上がりに満足しています。

生活空間の中に裂織があることで、心を落ち着かせ、励ましてくれるような作品を作りたいと思っています。



〈広告〉

教職員共済組合員のための

マイページができました!

教職員共済 マイページ

検索

<https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html>LINE公式アカウントも
できました!お友だち登録は
こちらからイメージキャラクター
「あむりん」

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済